

05

PELSTE2020の活動報告

※Peace Education and Lesson Study for Teacher Educator

活動の
背景

広島大学大学院教育学研究科は、2019年2月、教員養成機能をもつ研究大学の国際的ネットワークであるINEI※への加盟が承認された。これを契機にして加盟大学との国際共同研究のシーズ発掘やマッチングを図るために、本プログラムを開催することとした。

※International Network of Educational Institute



Overview —概要

- ① ヒロシマ及び広島大学が強みとする「平和教育」「授業研究」「教師教育(者)」の研究及び実践を紹介し、各研究者の研究対象に加えてもらう。
- ② 「平和教育」「授業研究」「教師教育(者)」を共通のテーマとして広島大学の研究者とPELSTEの参加者で意見交換を行い、研究者及び専門職としての知見を深める。
- ③ 国際共同研究のためのシーズ発掘や研究者のマッチングをはかる。

Participants —参加者

- ① サンパウロ大学教育学部 Prof. Dr. Agnaldo Arroio
- ② ロンドン大学教育研究所 Mr. Chawin Pongpajon
- ③ トロント大学オンタリオ教育研究所 Ms. Riya Saleem
- ④ ウィスコンシン大学マディソン校教育学部 Dr. Diana Rodríguez-Gómez
- ⑤ 南洋理工大學国立教育学院 Dr. Isabella Wong Yuen-Fun

参加者の加盟大学

加盟11機関の中から研究者を選考した。地理的なバランスにも配慮した。

参加者のキャリア

若手の大学院生から准教授、ベテランの教授まで、多様なキャリアをもつ研究者5名を招へいた。

Program —6日間のプログラム(2020年1月9日-15日)

1日目

広島の授業研究・平和教育・
現職教員研修の調査

▶ 広島大学附属東雲小学校・中学校



平和教育の取組の説明を受ける。また社会科や算数科の授業、複式学級、給食、掃除の様子も見学した。日本ならではの学校文化を体験した。

▶ 広島県立教育センター



広島県の教員研修制度の説明を受ける。また長期研修生や指導主事に聞き取りを行い、授業研究を基盤とした専門性開発のシステムとプロセスを理解した。

2日目

広島平和記念資料館の見学
被爆体験講話の聴講

▶ 平和記念公園・広島平和記念資料館



各種施設を見学し、広島の実爆被害と平和アピールの理解に努めた。また博物館の「平和」に関する語りの構造を分析した。

▶ 被爆体験講話



被爆体験者の証言を聞き、対話を通して「平和」に関する語りの普遍性と、ヒロシマの固有性を考える機会を得た。

3日目

広島叡智学園中・高等学校における
平和教育の取組の参観

▶ 未来創造科のGlobal Justice



日米の子どもが協働した「より良いヒロシマ教科書をつくろう」の実践を観察した。対話に基づく平和教育と相互理解の可能性を検討した。

▶ 事後の授業研究



広島叡智学園の教員と広島大学の教員・大学院生の事後省察(リフレクション)の様子を観察した。授業観察者として、「平和」の指導法についてもコメントした。

4日目

広島大学の教員・教師教育者の養成
に関するセミナーに参加

▶ 「授業研究」の方法論に関するセミナー



「授業研究」の歴史と理念、方法論について理解を深めた。また授業研究の世界的な広がり可能性と課題をめぐって意見交換した。

▶ 「教員養成・教師教育者養成」に関するセミナー

広島大学の①初等・中等教員養成、②グローバル教員養成、③教師教育者養成の情報提供を受けた。またこれらの教育課程の国際比較を試みた。



5日目

3つの学校における
平和教育の取組の参観

▶ 広島大学附属小・高等学校の平和学習



附属高校において「広島平和記念資料館のlast 10 feetをデザインしよう」に参画した。附属小学校においては「平和記念公園で遊べるか」を扱った社会科授業を参観した。

▶ 広島市立基町高等学校の「原爆の絵」制作

被爆者から記憶を絵に表現する活動を観察した。教師や生徒への聞き取りを通して「原爆の絵」の制作活動の、教授学的な意味や心理的・社会的なインパクトを検討した。



6日目

成果報告会の開催

▶ プログラムの総括と展望

広島大学の教職科目を観察し、受講生と対話した。その後、本プログラムの総括として「PELSTE2020の成果報告会」を開催した。5人の参加者は、PELSTE2020を通して学んだこと、そして広島大学との共同研究やINEIとの連携の可能性を、各個人の研究テーマに即して発表した。



Result & Implications —成果と示唆

平和教育を授業研究の視点で捉える、授業研究を教師教育の視点で捉える

- 広島で行われている多様な平和教育の取組を紹介するとともに、実践者が観察者と共同で行う授業研究(リフレクション)の意味を実体験を通して理解してもらうことができた。
- 広島において授業研究が組織的かつ多様な形態で実施されていることを紹介できた。授業研究を中核として教師の養成・研修を行う可能性について意見交換することができた。